

資 料 編

## 第1学年1組・2組 生活科学学習指導案

指導者 1組 ○○ ○○  
2組 ○○ ○○

1 単元名 あきとなかよし

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の下記の内容を受けて設定したものである。

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

本単元は、自然や人とのかかわり、自然を使った物作りなどの活動や体験をもとに、季節を体全体で実感し、季節の変化や生命の尊さ、工夫する楽しさに気付くことをねらいとしている。

小単元「あきとあそぼう」では、一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びを行い、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くことをねらいとしている。飾る物や遊ぶ物を作る活動では、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの活動を積極的に取り入れながら、友達と遊ぶことを楽しめるようにする。また、友達との交流の場を大切に、自分が頑張ったことを振り返ったり、友達のよさを伝え合ったりすることを通して、自分の成長に気付くことができるようにする。

児童はこれまでに、「なつとなかよし」の学習を通して、アサガオの世話をして成長の記録をつけたり、水鉄砲や船を作って水遊びを楽しんだりすることで、自然や人とのかかわり、自然を使ったもの作りなどを学んできている。ここでの学習は、第2学年の「春はっけん」の学習へと繋がっていく。

(2) 児童の実態

略

(3) 指導観

本単元で児童に身に付けさせたい力は、「秋の自然の変化に気づき、秋の自然物を使って工夫して作品作りをする活動を通して、自分たちの生活を楽しくしようとする力」である。そのために、秋そのものを体全体で実感できるような体験活動や友達との交流活動を取り入れながら、学習を進めていく。

小単元「あきとあそぼう」では、一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びを行い、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くことができるようにする。

まず、身近な秋を見つける活動を通して、季節の変化や秋に関心をもたせる場面では、家の周りで見つけた秋の素材や学校で見つけた秋の素材を友達と紹介し合う活動を行う。見つけた秋の素材は、タブレットPCを使って写真に撮ることで、いつでも振り返ることができるようにする。撮った写真や実物を参考に、「見つけたよカード」を書く活動に取り組む。また、写真のデータは、本校と分校の1年生で共有し、互いが見つけた秋の素材を交流する際に役立つ。本校と分校の交流は、「見つけた秋」の発表を互いに録画したものを見合う活動を取り入れ、交流に慣れていない児童や、話すことが

苦手の児童も、見つけた秋について友達に伝えることができるようにする。児童が書いた「見つけたよカード」は、児童と一緒に種類ごとに分けて教室に掲示する。

見つけた秋の素材で遊んだり、遊びに使うものや飾りを作ったりする場面では、昨年度録画しておいた上級生の発表や実物を見せることで、秋の素材を使った遊びや、物作りへの意欲が高められるようにする。物を作る活動の際には、自分の力で作ることや、工夫することが難しい児童もいるため、図書館の本を教室に用意しておいたり、上級生に教わる場面を作ったりして、活動が進められるようにする。また、作っている過程で録画した画像を本校と分校で見合い、アドバイスをし合ったり、友達の思いや色々な遊び方に気付いたりすることができるようにする。道具を使うときには、事前に約束を決めておき、正しく安全な使い方ができるよう指導する。

単元のまとめには、上級生を招待して一緒に遊んだり、作った物を発表したりする会を行う。上級生を相手に作り方や遊び方を説明するというめあてをもつことで、児童の意欲が高められると考える。上級生と楽しく遊び、感想を伝え合うことで、自分のよさや友達のよさに気付くことができるようにする。そして、ICT機器を活用して本校と分校での交流を行う。「あきとあそぼう」の活動を振り返り、互いの考えた遊びや感想を伝え合うことにより、自然や自然を使った遊びの面白さや、より多くの気付きに触れることができるようにする。

毎時間の活動の終わりには、振り返りカードを活用して自己評価を行い、次のめあてや意欲に繋げていく。

### 3 単元の目標

- ・ 夏から秋にかけての自然や町の様子の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くことができる。  
(知識及び技能の基礎)
- ・ 秋の自然を使って、工夫して作品を作ったり遊んだりすることができる。  
(思考力、判断力、表現力等の基礎)
- ・ 秋の自然や町とかかわる活動を通して、生活を楽しくしようとする。  
(学びに向かう力、人間性等)

### 4 指導計画 (34時間扱い)

単元 「あきとなかよし」	総時数 34時間
小単元 「いきものとなかよし」	9時間
小単元 「はなややさいをそだてよう」	7時間
小単元 「あきとあそぼう」	18時間

	時配	学習内容と学習活動	評価規準 (評価の観点) 【評価方法】
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちにあきがやってきた</li> <li>・ 秋にはどんなことがあるか話し合う。</li> <li>・ 夏から秋になって変わってきた町の様子について発表し合う。</li> <li>・ さらに調べてみたい・見つけてみたい秋について発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏のころと校庭や町の様子が違うことに気付いている。(知識・技能) 【発言・記録】</li> <li>・ 身近な秋を進んで見つけようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 【行動・つぶやき】</li> </ul>



第2次	4 本時① (2/4)	<p>○どんないろ どんなおい どんなおと あきってきれいだね</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな秋を見つけないか話し合う。</li> <li>・校庭の秋を見つけたら、感じたりして、写真に撮る。</li> <li>・「見つけたよカード」を書く。</li> <li>・本校と分校でビデオを撮り、見つけた秋を紹介し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紅葉の美しさや秋風の心地よさ、色や形、大きさなどの違う木の実や木の葉があることに気付いている。</li> </ul> <p>(知識・技能)【発言・記録】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸感覚を使って、自分なりに秋を感じようとしている。</li> </ul> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>【行動・つづやき】</p>
第3次	2	<p>○いろいろなあそびができるね</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた秋で、もっとしてみたいことを発表し合う。</li> <li>・落ち葉・木の実・草花などを使って遊ぶ。</li> <li>・遊んだことを振り返り、カードに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな色や形、大きさの葉や実があることに気付いている。</li> </ul> <p>(知識・技能)【発言・記録】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸感覚を使って見つけた秋を、比べたり、たとえたり、ことばで表現したりしている。</li> </ul> <p>(思考・判断・表現)【発言・記録】</p>
第4次	5 本時② (3/5)	<p>○じょうずにできたよ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた木の実や葉っぱで作りたいものを発表し合う。</li> <li>・作りたいものを工夫して作る。</li> <li>・自分が作って楽しかったこと、友達のよかったところ、これからやってみみたいことなどをカードに書き、知らせ合う。</li> <li>・友達と見せ合ったり教え合ったりしたことを参考にして、さらに工夫を加えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや願いをもって、遊びや遊びに使うものを粘り強く作ろうとしている。</li> </ul> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>【行動・発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な道具の使い方がわかっている。</li> </ul> <p>(知識・技能)【行動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで楽しむことのできる約束やルールなどを考え、遊びを創り出している。</li> </ul> <p>(思考・判断・表現)【行動・作品】</p>
第5次	6	<p>○おしえてあげるね たのしいあき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何年生を招待するか決め、どんな会にしたいか話し合う。</li> <li>・〇年生が楽しめるように、どんなことをしてあげたいか話し合う。</li> <li>・どんなことに気をつけたらよいか話し合い、準備をする。</li> <li>・〇年生を招待して、一緒に遊ぶ。</li> <li>・うれしかったこと、がんばったことをカードに書き、自分の成長を振り返る。</li> <li>・「あきとあそぼう」で楽しかったことや発見したことについて、本校と分校で交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に楽しく遊ぼうとしている。</li> </ul> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>【行動・つづやき】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇年生の立場になって考え、遊びの準備をしたり、プレゼントを作ったりしている。</li> </ul> <p>(思考・判断・表現)【行動・発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇年生に上手に説明できるようになった自分の成長に気付いている。</li> </ul> <p>(知識・技能)【行動・記録】</p>

5 本時①の指導 19 / 34

(1) 目標

○見つけた秋を紹介するカードを書き、色や形、大きさなどの違う木の実や木の葉があることに気付くことができる。 (知識・技能)

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
3	1 前時までの学習を振り返る。 ・秋見つけをしたよ。 ・タブレットで写真を撮ったよ。	・前時までの活動で、秋見つけをしたことを振り返ることができるようにする。	
2	2 本時の学習内容を知り、めあてを確認する。		
「見つけたよカード」をかいて、あきをしらせよう。			
5	3 どんな写真を撮ったか話し合う。 ・どんぐりの写真を撮ったよ。 ・コスモスの花がきれいだった。 ・黄色い葉っぱを見つけたよ。	・スライドショーで児童が撮った写真の何枚かを見ることで、自分たちがどんな秋を見つけたか思い出せるようにする。	大型テレビ タブレット
2 5	4 「見つけたよカード」を書く。 ・どんぐりは、さわるとつるつるだったよ。ぼうしをかぶっているみたいで、おもしろいよ。 ・すすきは、ほうきみたいだよ。さわると、さらさらしていたよ。 ・かれたはっぱがたくさんおちていたよ。あしでふんだら、サクサクとおとがしたよ。	・タブレットで保存した写真を探す方法や「みつけたよカード」の書き方について、全体で確認してから書くようにする。 ・タブレットで撮った写真や集めてきた実物を見ながら、カードを書けるように支援する。 ・色・形・大きさ・音・におい・手触りなど、五感を使って気付いたことを書くように助言する。 ・書くことが決められない児童は、写真を見ながら秋を見つけたことを一緒に振り返り、何を書くか決められるように支援する。 ○見つけた秋を紹介するカードを書き、色や形、大きさなどの違う木の実や木の葉があることに気付いている。  (知識・技能)【発言・記録】	見つけたよカード タブレット 落ち葉 木の実など

5	<p>5 書いたカードを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かたちをよくみているとおもいました。</li> <li>・てぎわりをかいたのがいいとおもいました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何人かの書いたカードを紹介し、友達の気づきを知ることで、いろいろな秋の発見があることに気付けるようにする。</li> <li>・大型テレビに映して紹介することで、友達のカードの書き方の良いところにも気付けるようにする。</li> </ul>	大型テレビ タブレット
5	<p>6 振り返りカードを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習について振り返り、次の学習への意欲に繋げられるようにする。</li> </ul>	振り返りカード

(3) 板書計画

「見つけたよカード」をかいて、あきをしらせよう。

みたこと  
いろ かたち  
おおきさ

てぎわり  
さらさら つるつる  
ぼこぼこ ちくちく

きいたこと  
おと  
トントン サクサク

おもったこと  
～みたい  
～ににている  
きれい かわいい  
おもしろい ふしぎ

見つけたよカード  
<れい>

におい  
～みたい



## (1) 目標

○安全に気をつけて道具を使うことができる。

(知識・技能)

○思いや願いをもって、遊びに使うものや飾りを粘り強く作ろうとする。

(主体的に学習に取り組む態度)

## (2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
3	1 前時までの活動を振り返る。 ・○○を使って□□を作ったよ。	・学習計画表を見ることで、前時までの活動を振り返ることができるようにする。	学習計画表
2	2 本時の学習内容を知り、めあてを確認する。		
	④ あそびにつかうものやかざりをくふうしてつくろう。		
6	3 本校の友達のビデオを観る。 ・違う木の実を使って同じものを作っていたよ。 ・友達の飾り付けの仕方が面白そうだったよ。 ・わたしもつくってみたいな。	・ビデオを大型テレビに写すことで、全員が一斉に観られるようにする。 ・前時までに作ったものと遊び方を事前に録画しておき、本校の児童と分校の児童で互いに見合うことで、友達の考えを知ることができるようにする。 ・友達が説明をしているビデオは、個人のタブレットPCからいつでも見られるようにしておく。	大型テレビ タブレットPC
30	4 友達の考えを参考に、自分が作ったものを工夫したり、同じ秋の素材を使って新しいものを作ったりする。 (例)・どんぐりごま ・まつぼっくりのけんだま ・まつぼっくりのかざり  「木の実の種類を変えてこまを作ると、面白いよ。」 「同じものを使って、ほかの飾りも作ることができたよ。」	・本校の友達の映像を観て、気付いたことをもとに、工夫して作るよう助言する。 ・自分や友達が説明しているビデオは、いつでも個人のタブレットPCで観てもよいことを伝える。 ・教科書や図書室の本も参考にできるよう、教室に準備しておく。 ・道具の正しい安全な使い方について表示しておく。	教科書 図書室の本 作品の例  落ち葉 木の実 カラーペン 毛糸 たこ糸 リボン カラーペン ボンド グルーガン

	<p>「けん玉は、糸の長さを変えるとむずかしくなることがわかったよ。」 「マジックで色をつけたり、絵を描いたりして飾りを工夫したよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な材料を用意しておく。</li> <li>・作り方の分からない児童は、友達に相談をしてもよいことを伝える。</li> </ul> <p>○安全に気をつけて道具を使っている。</p> <p style="text-align: center;">(知識・技能)【行動観察】</p> <p>○思いや願いをもって、遊びに使う物や飾りを粘り強く作ろうとしている。</p> <p style="text-align: center;">(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p style="text-align: center;">【行動・発言】</p>	<p>セロハンテープ 両面テープ はさみ きり</p>
4	<p>5 本時の活動について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカードを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の頑張ったことや友達の良かったところを発表し合うことで、次時への意欲に繋げる。</li> </ul>	<p>振り返りカード</p>

(3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>あそびにつかうものやかざりをくふうしてつくろう。</p> </div> <p>〈つくるもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>はさみの つかいかた</p> </div>
---	--



# あきとなかよし

ねん くみ なまえ

( ) まいめ

月日	きもち	ふりかえり	
/	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう		
	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう	-----	
		-----	
		-----	
		-----	
/	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう		
	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう	-----	
		-----	
		-----	
		-----	
/	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう		
	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう	-----	
		-----	
		-----	
		-----	
/	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう		
	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう	-----	
		-----	
		-----	
		-----	
/	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう		
	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう	-----	
		-----	
		-----	
		-----	
/	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう		
	みつけたよ たのしかったよ ふしぎだよ こまったよ ありがとう	-----	
		-----	
		-----	
		-----	

## 1 単元名 生きもの はっけん

## 2 単元について

## (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の下記の内容を受けて設定したものである。

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。
- (9) 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

児童は、第1学年での「いきものとなかよし」の学習で、身近な場所で見つけた昆虫を飼う活動を経験し、昆虫には生命があることや世話をすることの大切さに気付いている。本単元では、児童が継続的に生き物を飼育する中で得る、身近な生き物への興味・関心や気付きを通して、自ら働きかけ、生命を大切にすることができるようにすることをねらいとしている。

小単元「生きているってすごい！」では、身近な生き物を捕まえて世話をする活動を通して、生き物は生命をもっていることや成長していることに気付かせていく。興味・関心をもって、生き物の世話に取り組み、調べたり聞いたりしながら、継続して飼育ができるようにしていく。飼育活動の中で発見したことを情報交換し合う場を作り、意欲が継続できるようにする。また、友達との交流の場を大切に、自分ががんばったことを振り返ったり、友達のよさを伝え合ったりすることを通して、自分の成長に気付かせていく。

## (2) 児童の実態

略

## (3) 指導観

本単元で児童に身に付けさせたい力は、「身近な生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、生命の大切さや自分の成長に気付くことができる力」である。児童一人一人が自分で見つけた生き物を継続して飼育できるようにし、その中で生命の尊さを感じられるようにしていく。そして、友達と交流し、表現し合う学習活動を取り入れながら学習を進めることで、気付きの質を高めていきたい。グローバル化社会に対応するコミュニケーション能力の育成にも繋げられるように、自分の考えを表現し、友達と伝え合う活動に重点をおいて支援していく。

小単元「生きているってすごい！」では、まず、生き物への興味・関心をもち、身近にいる生き物とふれ合った経験を引き出しながら、飼育に取り組みせたい。生き物は校庭で捕まえられるもの

にし、すみかを作る時に、捕まえた場所の様子を見て考えられるようにする。生き物を飼う活動では、自分で調べたり、友達や家族に聞いたりしたことを生かして、世話ができるようにする。生き物の飼育について調べる時には、図書室の本を活用する。また、生き物の成長はタブレット型PCで写真や動画に撮るなどして観察し、生き物の特徴や変化に気付けるようにしていく。そして、飼育したり、調べたりする中で見つけた発見をカードに書いていく。書いたカードは、「はっけんじょうほうコーナー」に掲示し、友達と情報交換できるようにしたい。「生き物のひみつ」を友達に紹介するときは、写真や動画を活用したり、クイズにしたりと、発表の仕方を工夫して伝えるようにする。友達と一緒に活動し、発見したことを伝え合うことで、自分や友達の良さにも気付けるようにしたい。毎時間の活動は、振り返りカードを活用して自己評価をしながら取り組むことで、次のめあてや意欲に繋げていきたいと考える。

少人数の中では活動を広げるのに限りがあるため、本校の友達や分校の他の学年に紹介する場を設定して伝え合い、気付きを広げたいと考えている。単元のまとめでは、分校の1年生に「生き物のひみつ」を紹介する場を設定する。相手意識を明確にし、わかりやすく伝えるにはどうするか考えさせることにより、表現力や思考力を深めることに繋げたい。また、本校での合同学習日に、同学年での「生きもののひみつはっけん」の交流学習を設定する。友達との交流で良いところを認め合うことで、自分たちの成長に気付くことができると考える。

### 3 単元の目標

- ・ 動植物は、生命をもっていることや成長していることに気付くことができる。  
(知識及び技能の基礎)
- ・ 動植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。  
(思考力、判断力、表現力等の基礎)
- ・ 1年生での飼育・栽培の経験を生かして、動植物に親しみ、大切にしようとする。  
(学びに向かう力、人間性等)

### 4 指導計画（16時間扱い）

単元 「生きもの はっけん」	総時数 16時間
小単元 「生きているってすごい！」	10時間
小単元 「雨の日に はっけん」	1時間
小単元 「花ややさいの大きくなるひみつはっけん②」	4時間
小単元 「はっけん かんどう 夏休み」	1時間

	時配	学習内容と学習活動	評価規準（評価の観点）【評価方法】
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんな生きものがいるのかな</li> <li>・生き物の居場所について知っていることを教え合う。</li> <li>・捕まえる生き物や場所について考え、生き物探しの計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が探したい生き物を決め、採集の準備をしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 【行動・発言】</li> <li>・生き物によって、生息している場所や環境が違っていることに気付いている。 (知識・技能)【発言・記録】</li> </ul>



第 2 次	2	<p>○見つけたよ！かっぴたいな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物探しに行く準備をして、探しに行く。</li> <li>・友達と協力しながら、生き物を捕まえる。</li> <li>・捕まえた生き物をどうするか話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物や生き物がいる場所に合った採集方法を工夫している。 (思考・判断・表現)【行動・発言】</li> <li>・生き物が捕まえられなくても、上手な友達や先生に聞くなどして、粘り強く採集しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 【行動・発言】</li> </ul>
第 3 次	2	<p>○大切にするよ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物の飼い方について調べたり、話し合ったりして準備をする。</li> <li>・生き物のすみかを作って、大事に育てる。</li> <li>・生き物が成長する様子を継続的に観察し、写真や動画に記録していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物が住んでいた環境を考えて、すみかを作っている。 (思考・判断・表現)【行動・記録】</li> <li>・生き物の様子に関心をもって、毎日えさやすみかの掃除などの世話をしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 【行動・記録】</li> <li>・生き物に合った世話をすることのできる自分の成長に気付いている。 (知識・技能)【行動・記録】</li> </ul>
第 4 次	5 本時 3/5	<p>○生きもののひみつ はっけん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察したり、調べたりして発見したことをカードに書く。</li> <li>・発見カードを「はっけんじょうほうコーナー」に掲示する。</li> <li>・「生き物のひみつ」を友達に紹介する方法を考えて準備する。</li> <li>・「生き物のひみつ」発表会を行い、感想カードを書く。</li> <li>・1年生に生き物のひみつを紹介し、自分の飼育活動を振り返る。</li> <li>・合同学習会で、交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世話をしている生き物の特徴、変化、成長の様子から生命をもっていることに気付いている。 (知識・技能)【発言・記録】</li> <li>・飼育活動を通して、発見したことを工夫して伝えようとしている。 (思考・判断・表現)【発言・記録】</li> </ul>

5 本時の指導 (8/16)

(1) 目標

- ・飼育活動を通して、発見したことを工夫して伝えることができる。 (思考・判断・表現)

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
3	1 前時までの学習を振り返る。 ・生きもののひみつをたくさんはっけんしたよ。 ・「はっけんじょうほうコーナー」を作ったよ。	・発見カードを書き、掲示コーナーを作ったことや工夫して発表する準備をしたことを振り返る。	
2	2 本時の学習内容を知り、めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「生きもののひみつ」はっぴょう会をして、生きものにくわしくなろう。</div>		
10	3 友達が調べている生き物について気が付いたことを書く。 ・ダンゴムシの動き方がおもしろいね。 ・えさを食べる様子がわかったよ。	・友達の発表を聞いた時に、質問や感想が言えるように、気が付いたことを書く時間をとる。 ・友達の撮った生き物の写真や動画もタブレット型PC見ることができるようにする。 ・生き物についての感想や自分が他に知っていることなどを書くように助言する。	タブレット型PC 生き物 掲示物 ワークシート
20	4 「生きもののひみつ」を工夫して発表する。 ・ダンゴムシのおすとめすのちがいは・・・ ・バッタのえさは・・・ ・カエルのひみつのクイズを出します。	・写真や動画、発見カードをもとに自分が発見したことを友達にはっきりと伝えられるよう助言する。 ・写真や画像は、大型テレビに映して見られるようにする。 ・友達の発表を最後まで聞き、感想や質問のやりとりができるように支援する。 ○飼育活動を通して、発見したことを工夫して伝えようとしている。 (思考・判断・表現)【発言・記録】	大型テレビ

7	5 発表会を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習について振り返り、自分が頑張ったことや友達の良いところが書けるようにする。</li> <li>・何人かに発表してもらい、良いところを認め合えるようにする。</li> </ul>	振り返りカード
3	6 次時の活動について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次は、1年生に生き物のひみつを紹介することを確認する。</li> </ul>	

(3) 板書計画

「生きもののひみつ」はっぴょう会をして、  
生きものにくわしくなろう。

生きもののひみつ

- ・えさ
- ・すみか
- ・はっけんしたこと

すごい！ おもしろい！

かわいい！ ふしぎ！



# 生きものはっけん 学しゅうけい画

年 くみ 名前 ( )

月／日	学しゅうのめあて	ふ り か え り		先生から
	生きものさがしのけい画を立て、生きものをつかまえに行こう。	☆		
		☆		
		☆		
	生きものすみかやえさをしらべて、かってみよう。	☆		
		☆		
		☆		
	生きものせわをして、ようすをかんさつしよう。	☆		
		☆		
		☆		
	しらべたりかんさつしたりしたことから、生きものひみつを見つけよう。	☆		
		☆		
		☆		
	「生きものひみつ」をはっぴょうするじゅんぴをしよう。	☆		
		☆		
		☆		
	「生きものひみつ」はっぴょう会をしよう。	☆		
		☆		
		☆		
	「生きものひみつ」を1年生にはっぴょうしよう。	☆		
		☆		
		☆		
	合どう学しゅう会で、「生きものひみつ」をつたえあおう。	☆		
		☆		
		☆		

